

# 2019年3月期決算説明

2019年5月16日

 山一電機株式会社

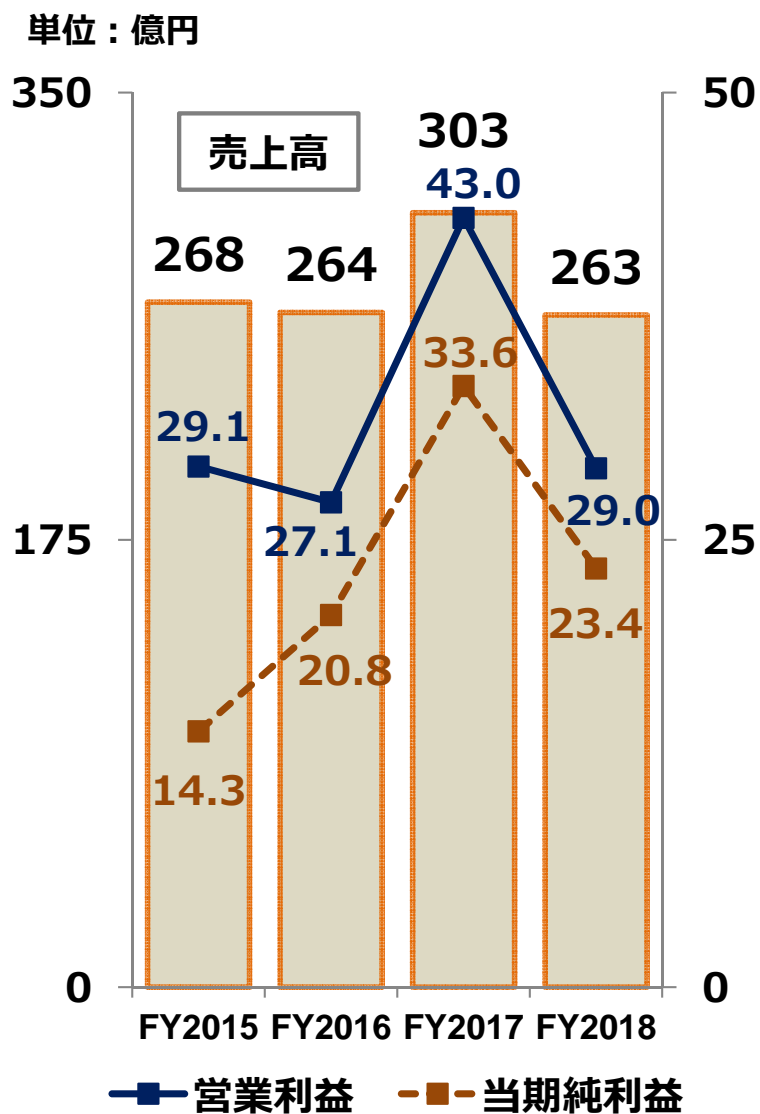
## ご説明内容

- 【1】 **FY2018業績結果・状況**
- 【2】 FY2019業績見通し
- 【3】 中期経営計画の進捗
- 【4】 配当金について

### 本説明資料内に記載の各事業名の略称について

事業名	事業名略称
テストソリューション事業	TS事業
コネクタソリューション事業	CS事業
光関連事業	OPT事業

# FY2018 業績結果



単位：億円	FY2017 通期実績	FY2018		前年 同期比	
		'18年5月14日 公表値	'19年2月4日 公表値		通期実績
売上高	303	310	267	263	▲ 40
営業利益	43.0	40.0	29.0	29.0	▲ 14.0
経常利益	42.9	39.0	29.0	28.3	▲ 14.6
当期純利益	33.6	31.0	21.8	23.4	▲ 10.2
EPS (円)	151.23	137.29	97.99	105.38	▲ 45.85
BPS (円)	973.56	—	—	1004.27	30.71
ROE (%)	16.7	—	—	10.6	▲ 6.1

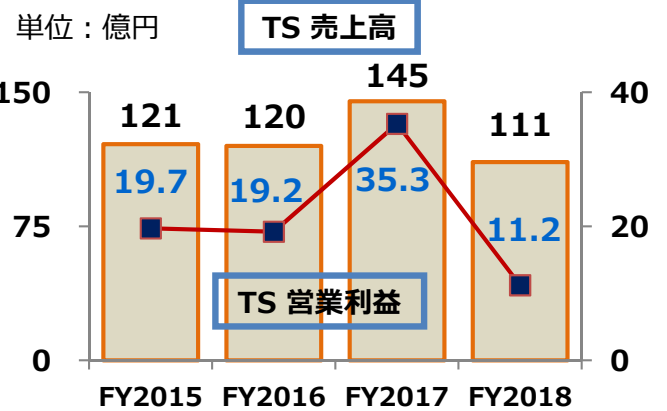
為替レート	FY2017	FY2018	増減
USD (円)	110.85	110.91	0.06
EUR (円)	129.68	128.41	▲ 1.27

## FY2018 事業別業績結果

単位：億円		FY2017 通期実績	FY2018			前年 同期比
			'18年5月14日 公表値	'19年2月4日 公表値	実績	
TS事業	売上高	145	140	115	111	▲ 34
	営業利益	35.3	25.5	12.9	11.2	▲ 24.1
CS事業	売上高	141	151	141	141	0
	営業利益	6.6	12.7	15.2	17.4	10.8
OPT事業	売上高	16	18	11	11	▲ 5
	営業利益	1.1	1.3	0.3	0.2	▲ 0.9
その他	営業利益	* ▲ 0.0	* 0.3	* 0.5	* 0.1	0.1
合計	売上高	303	310	267	263	▲ 40
	営業利益	43.0	40.0	29.0	29.0	▲ 14.0

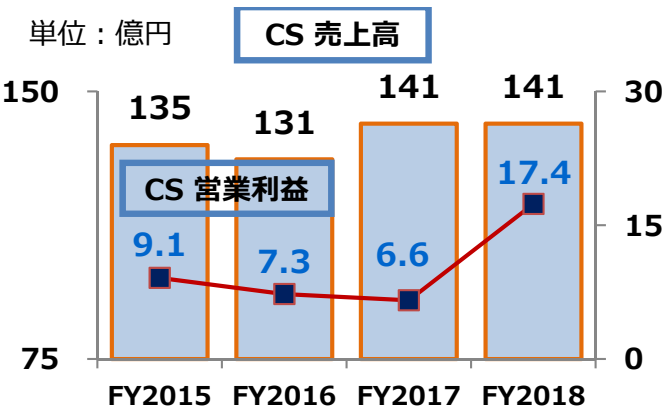
注記：\* は連結調整額

# FY2018 事業別業績結果



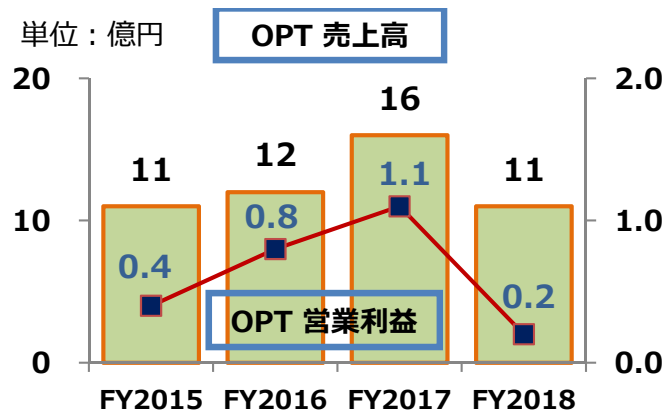
## TS事業

- ◆ 車載市場向けは、国内外主要顧客の生産調整等の影響を受け売上減
- ◆ スマホ市場向けは、生産調整と新規メモリの開発案件なく売上減
- ◆ 新規案件は多くあるが全体として立上げが後ろ倒し傾向



## CS事業

- ◆ 通信市場向けは期を通して順調に推移
- ◆ 車載市場向けは上半期は順調に推移したが、下半期は主要市場である欧州での在庫調整と生産調整の影響を受け減速
- ◆ 産機市場向けは上半期は順調に推移したが、下半期は中国市場の減速により顧客在庫調整および生産調整の影響を受け減速
- ◆ 生産性の改善や経費削減等の効果もあり収益面では大きく伸長



## OPT事業

- ◆ 光通信機器・産業機器向けは堅調に推移
- ◆ 一部特定顧客向け製品で生産調整の影響を受け低迷

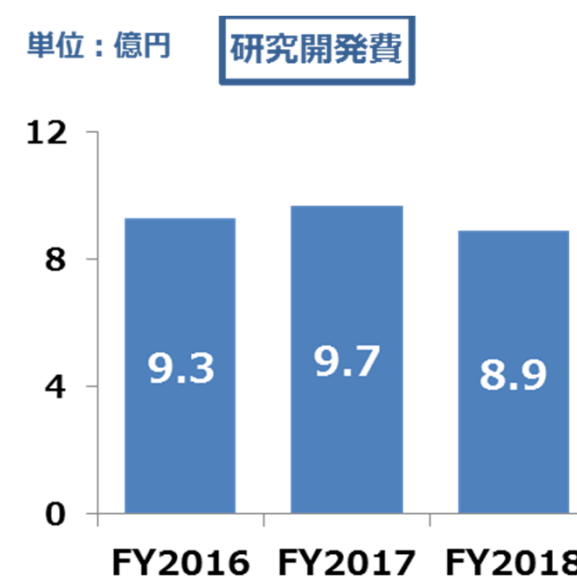
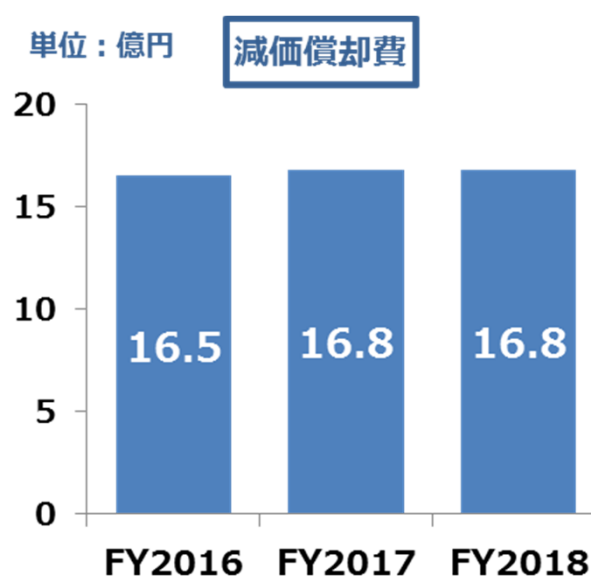
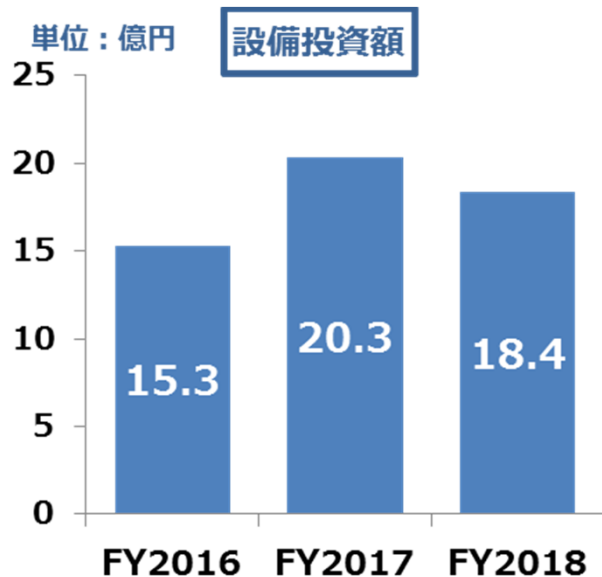
## 貸借対照表

単位：億円	2018年 3月末	2019年 3月末	増減額	注記
流動資産	178.0	176.2	▲ 1.7	現金及び預金 : 11.2億円増加 売上債権* : 13.1億円減少
固定資産	126.2	116.7	▲ 9.4	保有株式売却 : 10.6億円減少
資産合計	304.3	293.0	▲ 11.2	
流動負債	68.6	60.8	▲ 7.8	支払手形・買掛金 : 3.9億円減少 未払法人税等 : 3.3億円減少
固定負債	13.8	9.3	▲ 4.4	長期借入金 : 3.6億円減少
負債合計	82.4	70.2	▲ 12.2	
純資産合計	221.8	222.8	1.0	
負債純資産合計	304.3	293.0	▲ 11.2	

\* 売上債権 = 受取手形・売掛金・電子記録債権

# CF・設備投資・減価償却費・研究開発費

単位：億円	FY2017 通期実績	FY2018 通期実績	前年 同期比
営業活動による キャッシュ・フロー	42.1	42.7	0.6
投資活動による キャッシュ・フロー	-14.6	-10.7	3.9
フリー・キャッシュ・フロー	27.4	32.0	4.6
財務活動による キャッシュ・フロー	-11.9	-21.6	-9.7
現金・預金	71.8	83.1	11.3



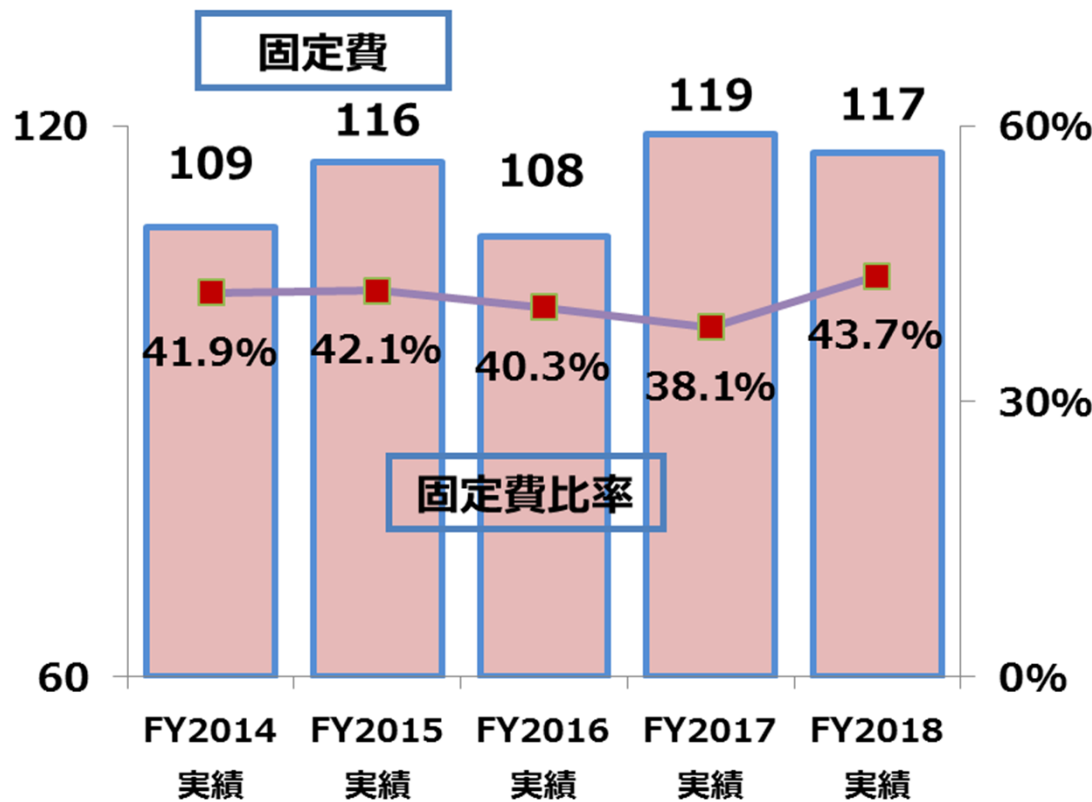
# 構造改革/財務体質強化

固定費比率 2014年度比 1.8倍<sup>1</sup>以上上昇

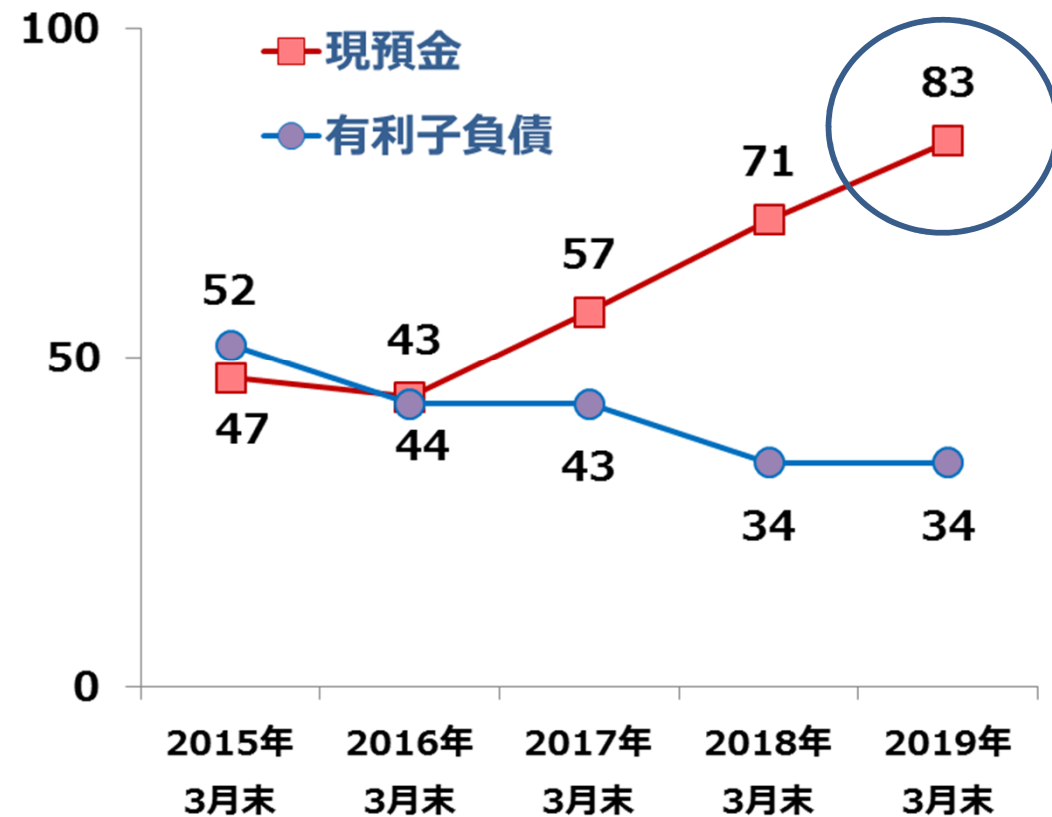
現預金 83億円 > 借入金+社債 34億円

固定費額

単位：億円

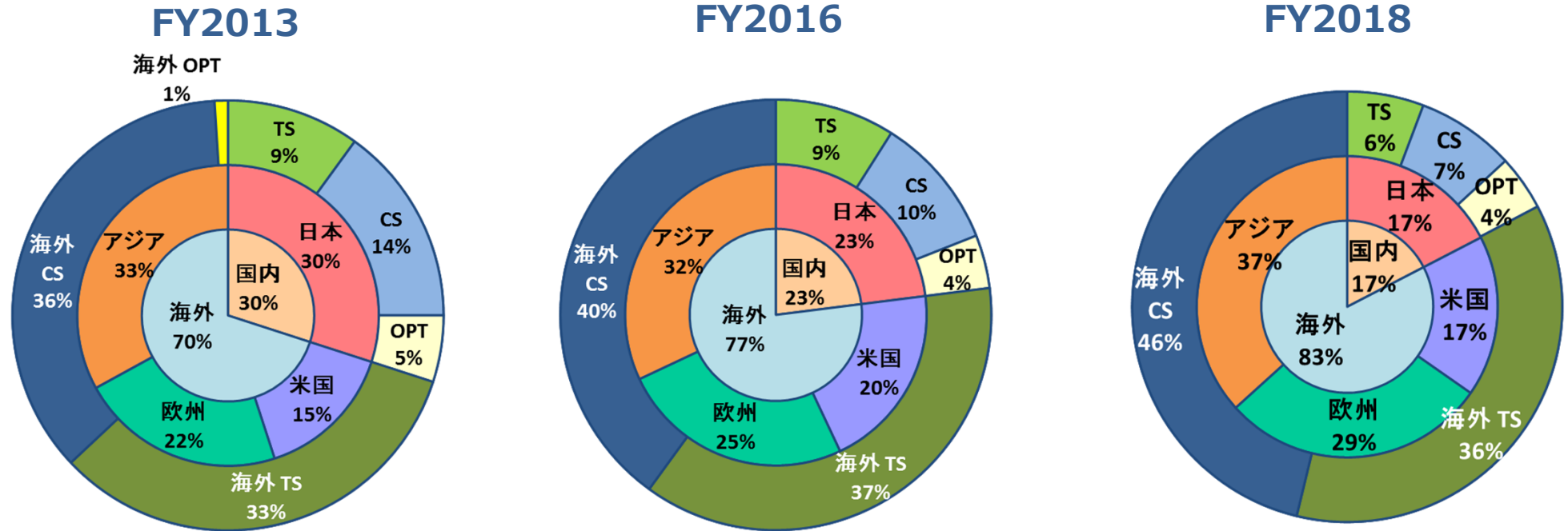


現預金・有利子負債





# 海外売上高比率



**2018年度実績：83% 欧州・米国・アジアとも増加（FY2013対比）**

	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2013比
<b>TS事業</b>	<b>79%</b>	82%	82%	82%	83%	<b>86%</b>	<b>+ 7ポイント</b>
<b>CS事業</b>	<b>69%</b>	72%	77%	80%	84%	<b>86%</b>	<b>+ 17ポイント</b>

## FY2018 為替影響

通貨	2017年度 通期	2018年度 通期	増減
USDレート (円)	110.85	110.91	0.06
EURレート (円)	129.68	128.41	▲1.27



対前年同期為替影響額 (単位：億円)	
売上高	▲0.74
営業利益	▲0.14

通期の為替感応度 (1円影響額/年間)	売上高影響額	営業利益影響額
USD	1.1億円	0.5億円
EUR	0.6億円	0.1億円

## ご説明内容

**【1】 FY2018 業績結果・状況**

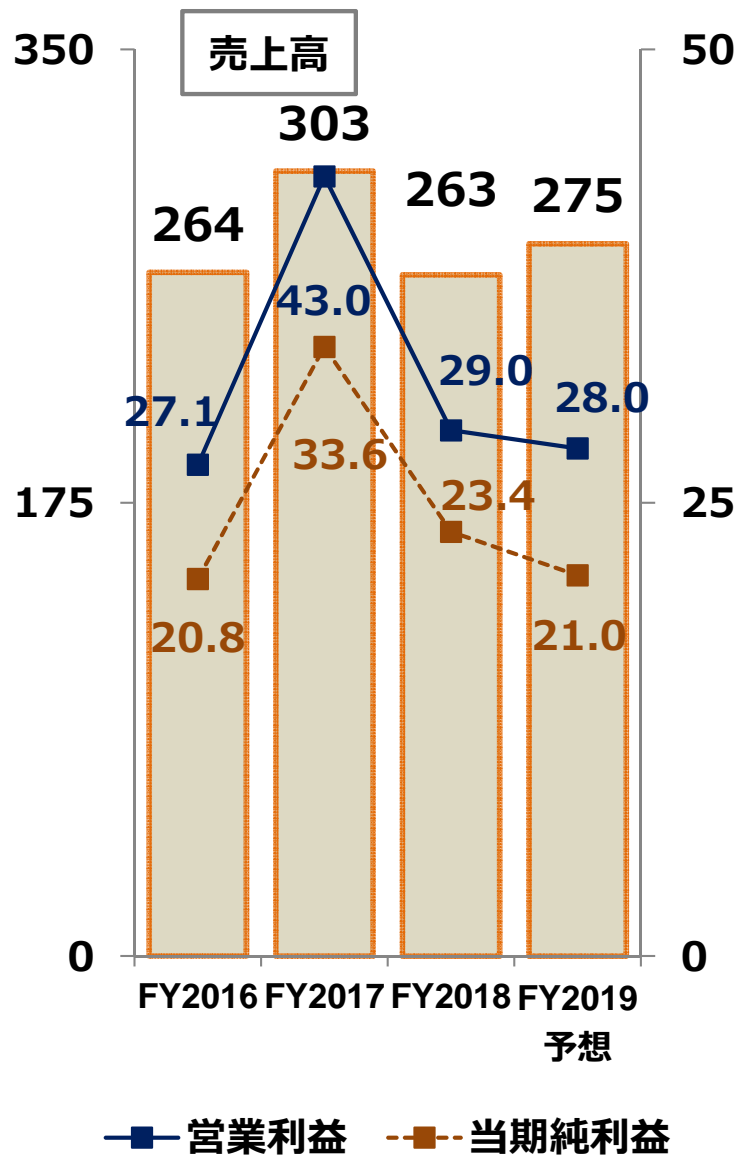
**【2】 FY2019 業績予想**

**【3】 中期経営計画の進捗**

**【4】 配当金について**

# FY2019業績予想

単位：億円



単位：億円	FY2018		FY2019 (予想)			
	上期実績	通期実績	上期	前期比	通期	前期比
売上高	145	263	132	▲ 13	275	12
営業利益	23.0	29.0	12.3	▲ 10.7	28.0	▲ 1.0
経常利益	24.1	28.3	11.5	▲ 12.6	27.0	▲ 1.3
当期純利益	18.8	23.4	9.0	▲ 9.8	21.0	▲ 2.4
EPS (円)	84.17	105.38	40.99	▲ 43.18	95.64	▲ 9.74
BPS (円)	1027.42	1004.27	—	—	—	—
ROE (%)	8.4	10.6	—	—	—	—

為替レート	FY2018	FY2019	増減
USD (円)	110.91	110.00	▲ 0.91
EUR (円)	128.41	125.00	▲ 3.41

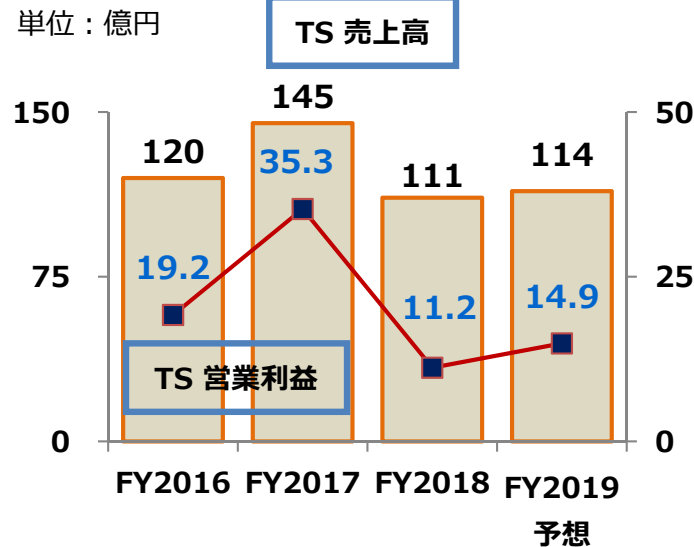
## FY2019事業別業績予想

単位：億円		FY2018		FY2019 (予想)			
		上期実績	通期実績	上期	前期比	通期	前期比
TS事業	売上高	66	111	53	▲ 13	114	3
	営業利益	13.3	11.2	6.3	▲ 7.0	14.9	3.7
CS事業	売上高	73	141	72	▲ 1	145	4
	営業利益	9.9	17.4	6.0	▲ 3.9	12.1	▲ 5.3
OPT事業	売上高	6	11	7	1	14	3
	営業利益	0.1	0.2	0.0	▲ 0.1	0.7	0.5
その他	営業利益	* ▲ 0.4	* 0.1	0.0	0.4	0.0	▲ 0.1
合計	売上高	145	263	132	▲ 13	275	12
	営業利益	23.0	29.0	12.3	▲ 10.7	28.0	▲ 1.0

注記：\* は連結調整額

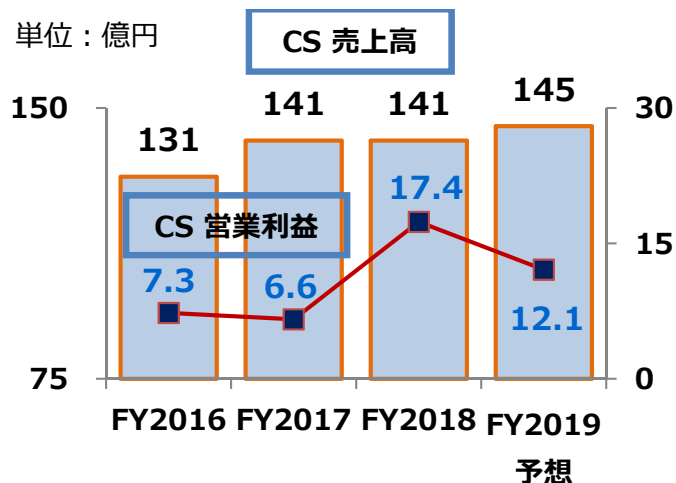
# FY2019事業別業績予想

2020年3月期の見通しは、2018年度下半期の状況が上半期に継続するものと予想され、下半期から若干回復してくると予想。



## TS事業

- ◆ 全体的に半導体市場の回復は下期以降になると予想
- ◆ 車載市場向けは、国内外主要顧客の在庫調整と生産調整が一部で続くと予測
- ◆ スマホ市場向けメモリーソケットは、下期に新製品開発を予想
- ◆ 継続中の開発品は下期に向けて受注を予想



## CS事業

- ◆ 通信市場向けは引続き順調に推移すると予測
- ◆ 車載市場向けは主要市場である欧州での在庫調整と生産調整が一部で続くと予測
- ◆ 産機市場向けは需要減による顧客在庫調整および生産調整が一部で続くと予測
- ◆ 価格面での対応が厳しいかと

## ご説明内容

【1】 FY2018 業績結果・状況

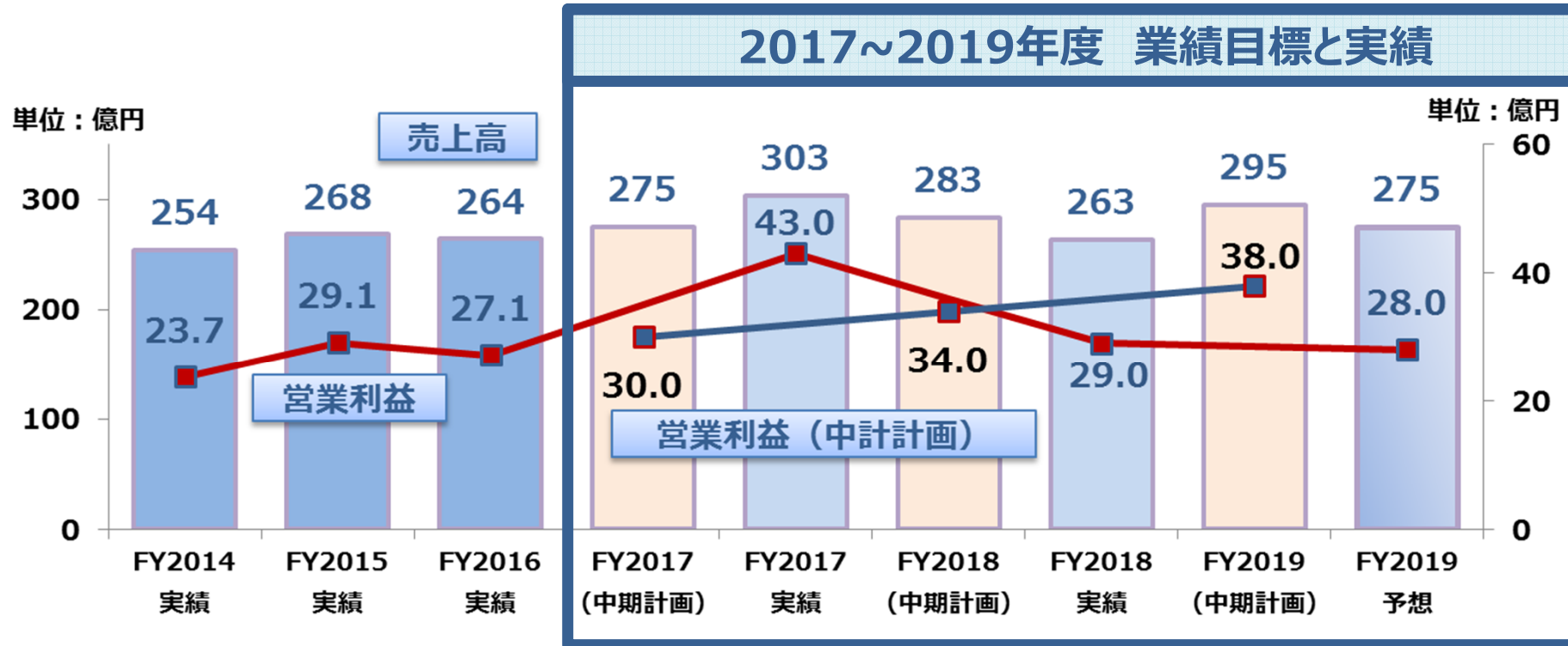
【2】 FY2019 業績予想

【3】 中期経営計画の進捗

【4】 配当金について

# 中期経営計画の進捗状況

3年間の目標 売上高：853億円 営業利益：102億円



営業利益3カ年累計は100億円ですが、目標値102億円の達成に向け努力いたします。

	中期計画目標値	2017年度実績	2018年度実績	2019年度計画
ROE	10.0%以上	16.7%	10.6%	10.0%以上
配当性向	30.0%を目指す	23.1%	30.4%	30.0%を目指す
設備投資	70.0億円(3カ年)	20.3億円	18.4億円	21.7億円



## 中期経営計画 基本戦略

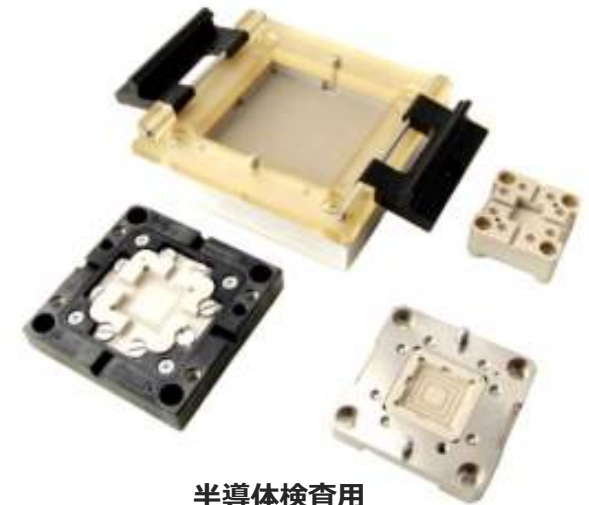
### 成長戦略：グローバルニッチTOP製品の創出

#### グローバル連携の強化

1. 『ユニークな製品、差別化した製品の開発』
2. 『伸びる市場/地域・元気な顧客・儲かる製品』

### 構造改革：グループの効率化を更に追求

1. グローバル管理体制強化
2. グローバルのモノづくりの効率化推進
3. グローバルシステムの強化



半導体検査用  
テストソケット



光トランシーバ用コネクタ

## 生産拠点清算終了のご報告

### 中国（深圳）工場 会社清算終了のご報告

- 清算会社名：山一電子（深圳）有限公司
- 会社解散日：2016年3月31日
- 清算終了日：2018年9月6日
- 本会社清算による当期決算数字への影響はございません。
- 本会社清算により、連結子会社の数は11社となります。

# FY2019 以降の生産拠点整備計画

## フィリピン工場 増築



- 場所 : Laguna 現工場敷地内
- 建屋 : 593m<sup>2</sup>
- 完成時期 : 2019年6月 予定

## ドイツ工場 移転



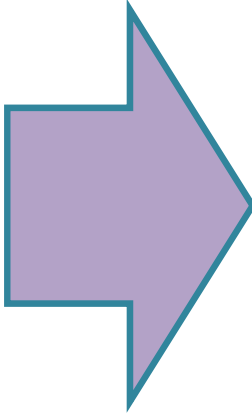
- 場所 : Frankfurt (Oder) 現工場近隣
- 用地 : 25,620m<sup>2</sup>
- 建屋 : 6,814m<sup>2</sup>
- 完成時期 : 2020年 予定

## ご説明内容

- 【1】 FY2018 業績結果・状況
- 【2】 FY2019 業績予想
- 【3】 中期経営計画の進捗
- 【4】 配当金について

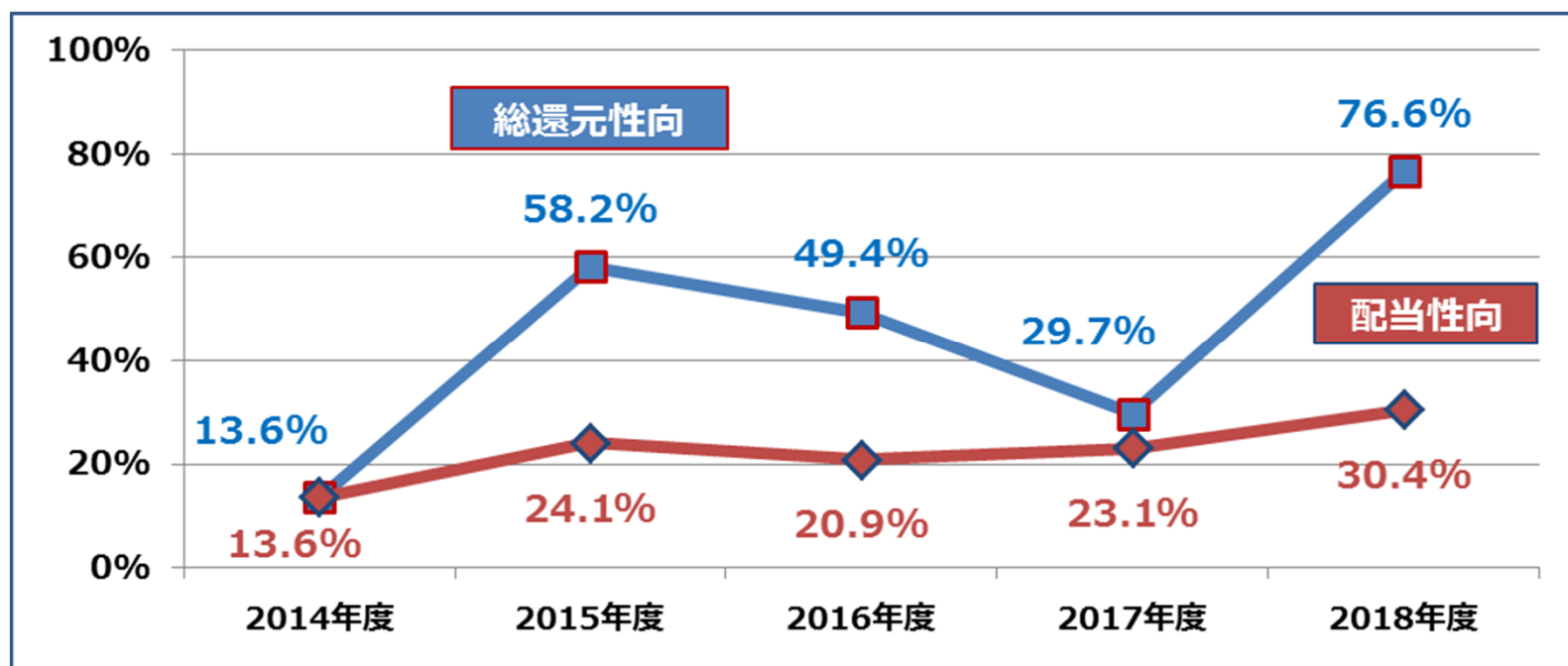
## FY2018 配当金について

FY2018の期末配当は、2018年5月14日公表値の20円から22円に修正予定です。

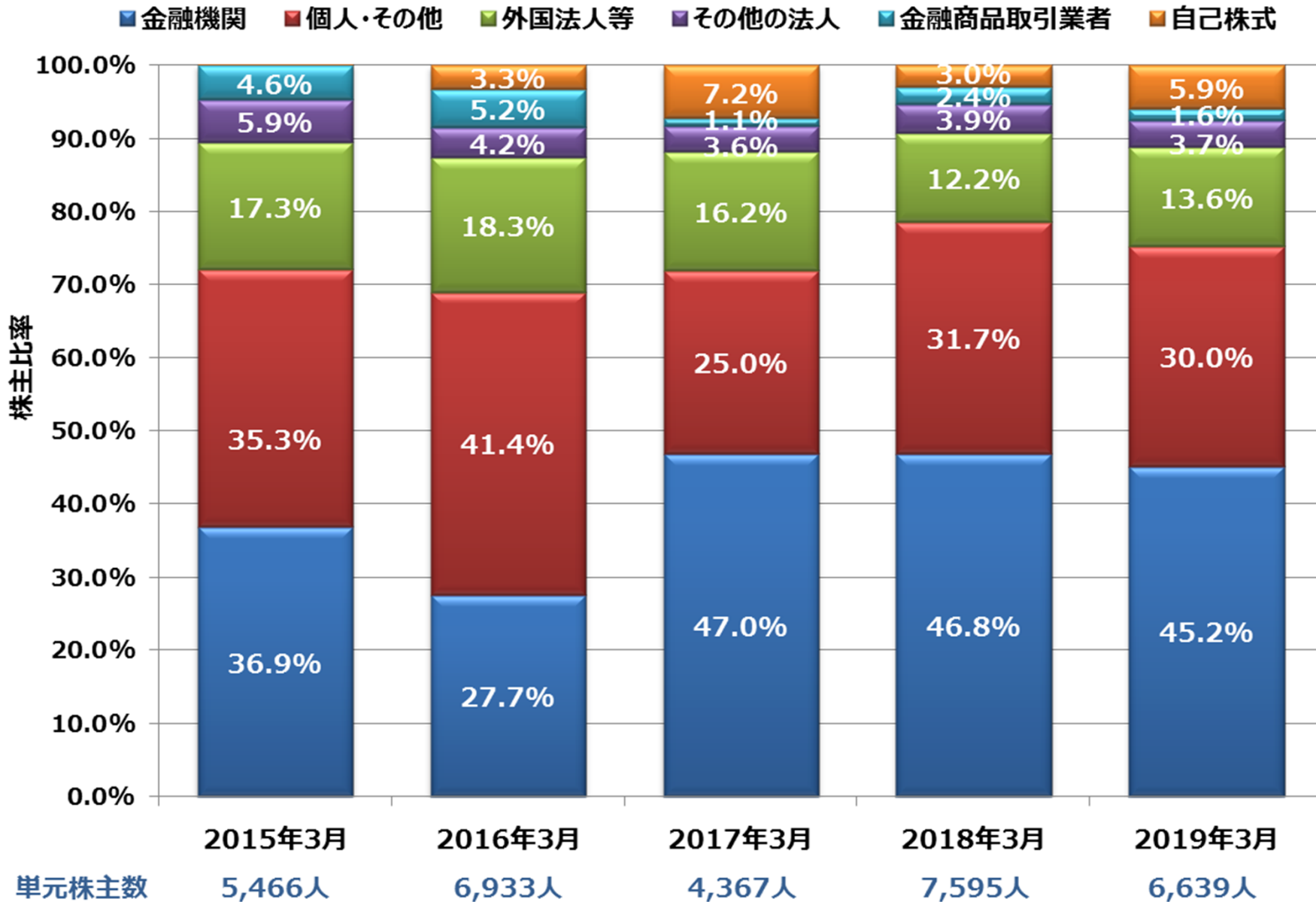
	2018年5月14日 公表値		2019年5月15日 公表値
1株当たり配当金	30円 中間配当 10円 期末配当 20円		32円 中間配当 10円 期末配当 22円
配当総額	---		706百万円
配当性向（連結）	21.9%		30.4%
純資産配当率（連結）	---		3.2%

## 総還元性向 / 配当性向推移

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
当期純利益 (百万円)	2,559	1,439	2,089	3,367	2,344
1株当たり配当 (円)	15.00	15.00	20.00	35.00	32.00
自己株取得金額 (百万円)	0	500	599	210	1,089
総還元性向	13.4%	58.2%	49.4%	29.7%	76.6%
配当性向	13.6%	24.2%	20.9%	23.1%	30.4%



# 株主構成推移



# ご清聴ありがとうございました

(第1四半期決算発表日 2019年8月5日(月) 15:00予定)

## ※注意事項

本資料は、2019年5月15日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更する場合があります。

問合せ先：経営管理部広報課 古畑 利之

TEL：03-3734-7661 FAX: 03-3734-0120

<http://www.yamaichi.co.jp>

E-mail: [furuhata@yamaichi.co.jp](mailto:furuhata@yamaichi.co.jp)